

## く ト ピ ッ ク 》

### ■富山県初記録 ハネナシコロギス

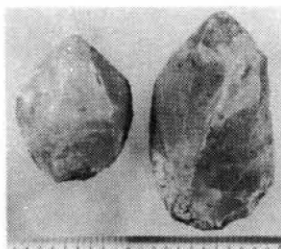
昨年の11月13日に大山町の長瀬でハネナシコロギスの幼虫一頭が見つかりました。富山県でハネナシコロギスが見つかったのは初めてです。

ハネナシコロギスはギリギリスのなかまですが、成虫になってもはねが生えず、もちろんはねをすりあわせて鳴くことはできません。そのかわり、足で葉をトントンたたいて音を出したり、腹の横と足をこすりあわせて音を出したりするようです。(H. N.)



### ■大型水晶発見される

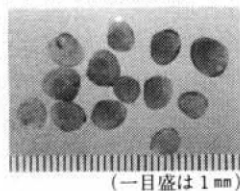
昨年の10月末、岐阜県大野郡白川村で大型水晶が2個発見されました。2個とも、直径8cmほどで、高さは15cmと10cmです。当館収蔵の水晶の内最大のものとなりましたが、やや不純物が多く、透明感がないのがおしまれます。(H. A.)



### ■水鳥が運んだ? マメシジミ

昨年の11月6日、上平村ブナオ峠の尾根筋の小さな池で、大きさ5mmくらいのかわいらしい二枚貝が無数に生息しているのが発見されました。調べてみると、マメシジミという種類であることがわかりました。移動性の乏しいマメシジミが、山頂近くの小さな池にこんなにたくさんすんでいたのは、たぶん、水鳥の足についてやってきたのではないかと思います。

マメシジミは、湧水などのきれいな水にすんでいる種類ですが、近縁なドブシジミは富山市内の下水にもきわめて普通にすんでいましたが、薬品などを流すせいか、今ではすっかり見られなくなっていました。(N. N.)



## く お 知 ら せ 》

### ■プラネタリウム

12月24日より3月7日まで冬のプラネタリウム「冬の星座と雪の話」を放映しています。冬の星座の紹介、星の和名、そして富山の冬につきものの雪のでき方について紹介します。(H. Y.)

### ■特別展「入善沖の埋没林」

今年の3月下旬より5月下旬までの予定で、特別展「入善沖の埋没林」が始まります。

世界最古の埋没林は、どのようにして発見されたのでしょうか。海面下40m、どうしてそんな深い所に林の跡があるのでしょうか。

これらの疑問に、実物・パネル・VTRなどでお答えします。乞う御期待。(H. A.)

### ■二階ロビー展示物「オオグソクムシ」紹介

二階ロビーに、深い海にすむ貝やその他の動物を展示しています。今回は、その中のオオグソクムシについて紹介します。オオグソクムシは、写真をみればおわかりのように、皆さんの庭にいるダンゴムシ(マルムシ)に近い仲間であることがわかります。しかし、およそ1000メートルの深海にすむ、このダンゴムシの親戚は、何と体長が10cm以上もあります。深い海底には、なぜこんな大きなダンゴムシがすんでいるのか不思議です。(N. N.)



### 〈表紙によせて〉

——スカシユリの染色体(約2200倍)——

これは、減数(第一)分裂後期の写真で、染色体は両極に分れていきます( $n=12$ )。

スカシユリの野生種は、富山・新潟県境の絶壁に、わずかに残っています。

### 〈訂 正〉

前号P.5の20行目を次のように訂正しお詫びいたします。

時間で割り→時間でかけ